

ペルシャ猫と暮らすアドバイス

◎チンチラとは

チンチラという品種ではなく、チンチラという毛色のペルシャ猫です。毛先だけが黒いチンチラの毛色には、地色が白いシルバーと、地色が赤茶のゴールデンがあり、チンチラ・シルバー、チンチラ・ゴールデンと呼びます。毛先の黒が多いとチンチラではなくシェーデッドと呼びます。この毛色は、経年で黒い部分が増えることも多いので、子猫以外判別は困難でしょう。変化するものだという認識でいてください。毛色の遺伝から、極稀に黒の部分が多くなったスモーク色、黒だけになったブラック色のペルシャ猫が生まれます。

◎ペルシャ猫の毛質

ペルシャ猫は、長毛猫の中で最も長い毛を持つ猫です。猫は毛色によって毛質が違います。チンチラという毛色は、最も柔らかい毛質で、アンダーコートがフワフワした毛が絡まりやすい特徴があり、日頃の手入れが必要な猫になります。手に負えない場合は、トリマーさんにご相談ください。柔らかな毛は、暖かそうな生地に絡むかもしれません。猫用のベッドはサラツとしたものがお勧めです。

◎毛のお手入れのポイント

毛のお手入れは、皮膚までコームの先を当てる事がポイントです！猫が舌で舐めるイメージで力を加減してください。お手入れには、スカスカした目の荒い、長めのコームがお勧めです。スリッカーは不慣れな人が使うと猫の皮膚を痛めたり、無理に毛を引っ張ったり、自身の手を痛めることもあるので、注意が必要です。スリッカーを購入の際は、先が丸いものを選ぶ方が無難でしょう。コームやスリッカーは軽く持ち、毛玉などに当たったら手から外れてしまうくらいのイメージです。

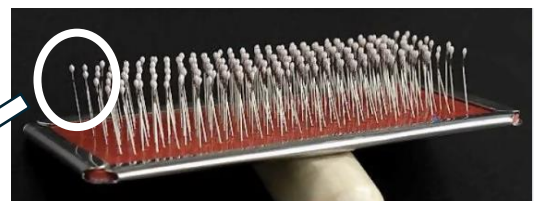
★注意！！★

力を入れなければならない場合は、ひっぱり過ぎ！猫ちゃんが痛がります(><)
痛い思いが続くと手入れを拒むようになってしまいます。

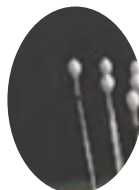
お勧めのコーム ↓



玉付きスリッカー ↓



ブラシの先端が玉付きで丸くなっている



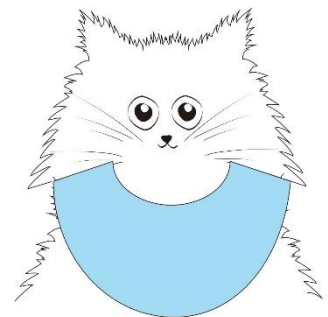
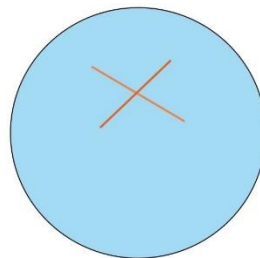
◎食事の時のポイント

ペルシャ猫は、大きな頭部に平たい顔が特徴です。水飲みや食事で口周りが汚れてしまうと毛玉ができやすくなるため、顎の下から胸にかけての被毛を汚さない事がポイントです。水入れは、小さめで浅い入れ物が適しており、大き過ぎると胸元の毛が濡れてしまいます。ウェットフードは、少し高さのある小さめの平皿に盛り塩のイメージで用意してあげると、汚さずに食べられます。保護猫たちは、栄養が不足していた猫が多いため、しっかり太らせてください。しっかりと丸い体になると、栄養が被毛に伝わり、毛も伸び、艶が出てくるでしょう。

★ポイント★

ウェットフードを与えるときに紙製のエプロンをすると汚れにくくなります。

円形のあく取りシートやコーヒーフィルターに切れ目を入れて手作りエプロンにすることもできます！



◎長毛猫の特徴

短毛猫と違い、寒さに強く、暑さに弱い品種です。しかし、長年人と暮らしていたので、特に寒くする必要はありません。しかし、暑過ぎたり、湿度が高いと長い毛がべったりしてきます。毛がしっとりしてきたら、シャンプーのタイミングです。毎日、上手に手入れしているとシャンプーの回数が減ります。

★シャンプーのタイミング★

あまり手入れをせずに綺麗に飼うためには、1週間に1回シャンプーが必要です。毎日、適度に毛のお手入れをすることで、1ヶ月からそれ以上に1回の頻度でのシャンプーで済みます。3ヶ月に1回はシャンプーをお勧めしますが、最低でも換毛期のタイミングで年2回は必ず洗ってください。

脚裏の毛は長いため、滑りやすくなっています。滑らない床にするか、脚裏の毛をカットしましょう。猫でも脚をくじいたり、床の滑りに堪えることで股関節を痛めることもあります。